



## 安全データシート

Copyright, 2024, 3M Company. All right reserved. 本情報は、3M社の製品を適切にご使用頂くために作成したものです。複製および/またはダウンロードをする場合には、以下の条件をお守り下さい。(1) 3M社から書面による事前承認を得ることなく情報を変更したり、一部を抜粋して使用しないで下さい。(2) 本情報を営利目的で転売または配布をしないで下さい。

SDS番号	32-9752-0	版	3.01
発行日	2024/04/11	前発行日	2023/09/19

この安全データシートはJIS Z7253:2019に対応しています。

### 1. 化学品及び会社情報

#### 1.1. 化学品の名称

3M<sup>TM</sup> コンパウンド QT-2L 5997

#### 3M スtockナンバー

JC-1700-2285-2

7010600126

#### 1.2. 推奨用途及び使用上の制限

##### 推奨用途

自動車ボディ研磨

#### 1.3. 会社情報

供給者	スリーエム ジャパン株式会社
所在地	本社 東京都品川区北品川6-7-29
担当部門	オート・アフターマーケット 製品事業部技術部
電話番号	042-779-2185

### 2. 危険有害性の要約

#### GHS分類

皮膚腐食性/刺激性： 区分2

皮膚感作性： 区分1

特定標的臓器毒性（単回ばく露）： 区分3

水生環境有害性 短期（急性）： 区分3

#### GHSラベル要素

注意喚起語

警告

シンボル  
感嘆符

ピクトグラム



#### 危険有害性情報

H315	皮膚刺激
H317	アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ
H336	眠気又はめまいのおそれ
H402	水生生物に有害

#### 注意書き

#### 安全対策

P261	粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーの吸入を避けること。
P271	野外又は換気の良い場所でのみ使用すること。
P280E	保護手袋を着用すること。
P264	取扱後はよく洗うこと。
P272	汚染された作業衣は作業場から出さないこと。
P273	環境への放出を避けること。

#### 応急措置

P304 + P340	吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい状態を確保すること。
P302 + P352	皮膚に付着した場合：多量の水と石けん（鹼）で洗うこと。
P333 + P313	皮膚刺激又は発しん（疹）が生じた場合：医師の診断／手当てを受けること。
P362 + P364	汚染された衣類を脱ぐこと。再利用する場合は洗うこと。
P321	特別な処置が必要である（このラベルの説明を見よ）。
P312	気分が悪いときは医師に連絡すること。

#### 保管

P403 + P233	換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。
P405	施錠して保管すること。

#### 廃棄

P501	内容物／容器を国際、国、都道府県、市町村の規則に従って廃棄すること。
------	------------------------------------

### 3. 組成及び成分情報

この製品は混合物です。

成分	CAS番号	重量%
----	-------	-----

水	7732-18-5	40 - 70
酸化アルミニウム	1344-28-1	10 - 20
鉱油	営業秘密	11
石油系溶剤	64742-14-9	9.5
グリセリン	56-81-5	1 - 5
ホワイトミネラルオイル（石油）	8042-47-5	1.9
安定剤 1	営業秘密	0 - 0.5
安定剤 2	営業秘密	0 - 0.5
トリエタノールアミン	102-71-6	0.28

## 4. 応急措置

### 応急措置

#### 吸入した場合

新鮮な空気の環境に移動させる。気分がすぐれない場合は医療機関を受診する。

#### 皮膚に付着した場合

直ちに多量の水で15分以上洗浄する。汚染された衣類を再使用する場合には洗濯すること。症状が続く場合は医療機関を受診する。

#### 眼に入った場合

直ちに多量の水で洗浄する。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。症状が続く場合には医療機関を受診する。

#### 飲み込んだ場合

口をゆすぐ。気分が悪い時は医療機関を受診する。

#### 予想できる急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状

重大な症状や影響はない。毒物学的影響に関する情報はセクション11を参照する。

#### 応急措置を要する者の保護に必要な注意事項

適用しない。

## 5. 火災時の措置

### 消火剤

火災の場合： 消火するために水あるいは泡消火薬剤などの、通常の燃焼物質用の消火薬剤を使用すること。

### 使ってはならない消火剤

情報なし。

### 特有の危険有害性

本製品では予想されない。

### 有害な分解物または副生成物

#### 物質

アルデヒド  
一酸化炭素  
二酸化炭素

#### 条件

燃焼中  
燃焼中  
燃焼中

窒素酸化物

燃焼中

**消火作業者の保護**

消火作業者への特別な防御措置は予想されない。

**6. 漏出時の措置****人体に対する注意事項、保護具及び緊急措置**

区域から退避させること。新鮮な空気での場所を換気する。大量に漏洩した場合、あるいは狭小な場所で漏洩した場合は、安全衛生手順にしたがって、蒸気の拡散、排出のための強制換気を行う。物理的有害性、健康有害性、呼吸保護、換気、個人防護については本SDSの他の項目を参照。

**環境に対する注意事項**

環境への放出を避けること。大量の場合には、下水設備や水施設に流入すのを防止する為に、排水溝にカバーし、土手をつくる。

**封じ込め及び浄化の方法及び機材**

漏洩を止める。ベントナイト、バーミキュライトあるいは市販の無機吸収剤を用い、漏洩物の周囲から内側に向けて覆う。漏洩箇所が乾燥するまで十分に吸収剤を混ぜ合わせる。吸収剤を加えても物理的危険性や健康および環境影響に関する有害性を有することに留意する。漏洩した物質を出来る限り多く回収する。密閉容器に収納する。容器を密封する。回収した物質は、国内外の法令や規則にしたがって、できるだけ早く廃棄する。

**7. 取扱い及び保管上の注意****取扱い**

工業用又は業務用。消費者用途への販売、使用禁止。粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーの吸入を避けること。眼、皮膚、衣類につけないこと。この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。取扱後はよく洗うこと。汚染された作業衣は作業場から出さないこと。環境への放出を避けること。汚染された衣類を再使用する場合には洗濯をすること。

**保管**

換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。熱から離して保管する。

**8. ばく露防止及び保護措置****管理項目****許容濃度及び管理濃度**

セクション3に表示されている成分名が、以下の表に見当たらない場合は、当該成分についての適切な作業時の許容濃度または管理濃度がないことを示している。

成分	CAS番号	政府機関	許容濃度または管理濃度	備考
トリエタノールアミン	102-71-6	ACGIH	TWA : 5mg/m <sup>3</sup>	
酸化アルミニウム	1344-28-1	JSOH OELs	TWA (総粉じんとして) (8時間) : 2 mg/m <sup>3</sup> ; TWA (吸入性粉じんとして) (8時間) : 0.5 mg/m <sup>3</sup>	
不溶性アルミニウム、化合物	1344-28-1	ACGIH	TWA (吸入性分画) : 1mg/m <sup>3</sup>	A4 : ヒトに対して発がん

				ん性物質として分類できない物質
鉍物油、高精製油	8042-47-5	ACGIH	TWA (吸入性分画) : 5 mg/m <sup>3</sup>	A4: ヒトに対して発がん性物質として分類できない物質
鉍物油、高精製油	8042-47-5	JSOH OELs	TWA (ミストとして) (8時間) : 3 mg/m <sup>3</sup>	
オイルミスト、ミネラル	8042-47-5	JSOH OELs	TWA (ミストとして) (8時間) : 3 mg/m <sup>3</sup>	

ACGIH: American Conference of Governmental Industrial Hygienists

AIHA: American Industrial Hygiene Association

ISHL: 労働安全衛生法作業環境評価基準

ISHL(濃度基準値): 労働安全衛生法厚生労働大臣が定める濃度の基準

JSOH OELs: 日本産業衛生学会許容濃度

TWA: 時間加重平均値

STEL: 短時間ばく露限界値

ppm: 百万分率

mg/m<sup>3</sup>: ミリグラム/立方メートル

CEIL: 天井値

## ばく露防止策

### 設備対策

空気中の有害物質をそれぞれの許容濃度以下に制御し、粉じん、フューム、ガス、ミスト、スプレーをコントロールするためにも、一般的な希釈換気あるいは局排換気を行う。換気が適切に実施できない場合は、呼吸保護具を使用する。

### 保護具

#### 眼の保護具

ばく露評価結果に準じた眼・顔の保護具を選択・使用する。下記の眼・顔の保護具を推奨する。

サイドシールド付安全メガネ

#### 皮膚及び身体の保護具

ばく露評価に準じた皮膚接触を防止するために、関連した法令で認められた保護手袋・保護衣を選択・使用する。注: 保護性を高めるために樹脂ラミネートされた手袋にニトリルゴム製の手袋を重ねてもよい。

推奨される手袋の材質: 樹脂ラミネート。

スプレーや、ハネの多い作業など、ばく露の可能性が高い場合には、つなぎ服などの保護衣を使用する。ばく露評価に基づき、適切な保護具を着用する。保護衣の材質として次のものを推奨する。ポリマーラミネート製エプロン

#### 呼吸用保護具

ばく露評価によって保護マスクが必要と判断される場合には、適切なものを使用する。ばく露評価結果に基づいて以下のものから保護マスクを選択する:

半面形もしくは全面形のろ過材付き有機ガス用防毒マスク

特殊な利用に際して、マスクの適合性に疑問があれば、保護マスクのメーカーに相談する。

## 9. 物理的及び化学的性質

### 基本的な物理・化学的性質

外観	液体
物理的状態:	スラリー
色	白色
臭い	わずかな石油臭
臭いの閾値	データはない。
pH	8.1 - 8.5
融点・凝固点	データはない。
沸点, 初留点及び沸騰範囲	100 °C
引火点	データはない。
蒸発速度	データはない。
引火性 (固体、ガス)	適用しない
燃焼点 (下限)	0.7 %
燃焼点 (上限)	7 %
蒸気圧	データはない。
蒸気密度/相対蒸気密度	データはない。
密度	データはない。
比重	データはない。
溶解度	1 - 10 %
溶解度 (水以外)	データはない。
n-オクタノール/水分係数	データはない。
発火点	データはない。
分解温度	データはない。
粘度/動粘度	14,000 - 20,000 mPa-s
揮発性有機化合物	データはない。
揮発分	データはない。
水と規制除外の溶剤を除いた揮発性有機化合物 (JIS-GHSの要求項目ではない)	データはない。

### ナノパーティクル

この製品はナノパーティクルを含有しない。

## 10. 安定性及び反応性

### 反応性

この物質は、特殊条件下では薬品と反応する可能性がある。このセクションの他の項目を参照する。

### 化学的安定性

安定。

### 危険有害反応の可能性

有害な重合反応は起こらない。

### 避けるべき条件

熱。  
高せん断・高温時

混触危険物質  
未確定

危険有害な分解物  
物質

条件

知見はない。

セクション5の燃焼中の有害な分解物を参照

## 11. 有害性情報

セクション2で区分表示が義務付けられている特殊な成分を含有する場合には、下記の情報と一致しない場合があります。また、成分の含有量が表示義務となる値以下の場合、成分のばく露が予想されない場合、あるいは製品全体を考慮した場合に、含有成分の毒性情報が、製品の区分、ばく露時の兆候や症状に一致しないことがあります。

毒性学的影響に関する情報

ばく露による症状

組成の試験結果や情報より、下記の健康影響が考えられる。

吸入した場合

気道刺激： 咳、くしゃみ、鼻水、頭痛、鼻と喉の痛みなどの症状。 その他、以下に記載する健康影響を発現させることがある。

皮膚に付着した場合

皮膚刺激： 発赤、腫脹、かゆみ、乾燥、水疱、ひび、痛みなどの症状。 皮膚過敏症のヒトにおける非光感作性アレルギー皮膚反応： 発赤、腫脹、水疱形成、かゆみなどの症状。

眼に入った場合

製品使用中に眼に接触しても、重篤な刺激が発現するとは考えられない。 切断、研磨又は機械加工によって発生する粉じんは眼を刺激する。症状は発赤、腫脹、痛み、催涙及び視力低下など。

飲み込んだ場合

胃腸への刺激： 腹痛、胃痛、吐き気、嘔吐、下痢などの症状。 その他、以下に記載する健康影響を発現させることがある。

その他健康影響情報

特定標的臓器毒性、単回ばく露

中枢神経機能の抑制： 頭痛、目眩感、眠気、協調障害、吐き気、反応時間遅延、言語障害、目眩及び意識喪失などの症状。

毒性データ

セクション3に開示されている化学成分で以下に情報が無い場合は、そのエンドポイントに対して利用できるデ

ータが無いが、分類するに十分なデータが無い場合があります。

### 急性毒性

名称	経路	生物種	値又は判定結果
製品全体	皮膚		利用できるデータが無い：ATEで計算。5,000 mg/kg
製品全体	吸入－蒸気 (4 時間)		利用できるデータが無い：ATEで計算。50 mg/l
製品全体	経口摂取		利用できるデータが無い：ATEで計算。5,000 mg/kg
鉱油	吸入－蒸気		LC50 推定値 20 - 50 mg/l
鉱油	皮膚	ウサギ	LD50 > 3,000 mg/kg
鉱油	経口摂取	ラット	LD50 > 5,000 mg/kg
酸化アルミニウム	皮膚		LD50 推定値 > 5,000 mg/kg
酸化アルミニウム	吸入－粉塵 /ミスト (4 時間)	ラット	LC50 > 2.3 mg/l
酸化アルミニウム	経口摂取	ラット	LD50 > 5,000 mg/kg
石油系溶剤	皮膚	ウサギ	LD50 > 2,000 mg/kg
石油系溶剤	経口摂取	ラット	LD50 > 5,000 mg/kg
グリセリン	皮膚	ウサギ	LD50 推定値 > 5,000 mg/kg
グリセリン	経口摂取	ラット	LD50 > 5,000 mg/kg
ホワイトミネラルオイル (石油)	皮膚	ウサギ	LD50 > 2,000 mg/kg
ホワイトミネラルオイル (石油)	経口摂取	ラット	LD50 > 5,000 mg/kg
トリエタノールアミン	皮膚	ウサギ	LD50 > 2,000 mg/kg
トリエタノールアミン	経口摂取	ラット	LD50 9,000 mg/kg
安定剤 1	皮膚	ウサギ	LD50 87 mg/kg
安定剤 1	吸入－粉塵 /ミスト (4 時間)	ラット	LC50 0.171 mg/l
安定剤 1	経口摂取	ラット	LD50 40 mg/kg
安定剤 2	皮膚	ラット	LD50 242 mg/kg
安定剤 2	吸入－粉塵 /ミスト (4 時間)	ラット	LC50 0.11 mg/l
安定剤 2	経口摂取	ラット	LD50 120 mg/kg

ATE=推定急性毒性

### 皮膚腐食性／刺激性

名称	生物種	値又は判定結果
鉱油	ウサギ	刺激物
酸化アルミニウム	ウサギ	刺激性なし
石油系溶剤	専門家による判断	軽度の刺激
グリセリン	ウサギ	刺激性なし
ホワイトミネラルオイル (石油)	ウサギ	刺激性なし
トリエタノールアミン	ウサギ	わずかな刺激
安定剤 1	ウサギ	腐食性
安定剤 2	ウサギ	腐食性

### 眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性

名称	生物種	値又は判定結果
鉱油	ウサギ	刺激性なし



酸化アルミニウム	ウサギ	刺激性なし
石油系溶剤	専門家による判断	軽度の刺激
グリセリン	ウサギ	刺激性なし
ホワイトミネラルオイル (石油)	ウサギ	軽度の刺激
トリエタノールアミン	ウサギ	軽度の刺激
安定剤 1	ウサギ	腐食性
安定剤 2	ウサギ	腐食性

## 呼吸器感作性または皮膚感作性

## 皮膚感作性

名称	生物種	値又は判定結果
鉱油	モルモット	区分に該当しない。
石油系溶剤	モルモット	区分に該当しない。
グリセリン	モルモット	区分に該当しない。
ホワイトミネラルオイル (石油)	モルモット	区分に該当しない。
トリエタノールアミン	ヒト	区分に該当しない。
安定剤 1	ヒト及び動物	感作性あり
安定剤 2	ヒト及び動物	感作性あり

## 光感作性

名称	生物種	値又は判定結果
安定剤 1	ヒト及び動物	感作性なし
安定剤 2	ヒト及び動物	感作性なし

## 呼吸器感作性

セクション 3 に開示されている化学成分に対しては、利用できるデータが無いか、分類するに十分なデータが無い。

## 生殖細胞変異原性

名称	経路	値又は判定結果
鉱油	In vivo	変異原性なし
鉱油	In vitro	陽性データはあるが、分類には不十分。
酸化アルミニウム	In vitro	変異原性なし
石油系溶剤	In vitro	変異原性なし
ホワイトミネラルオイル (石油)	In vitro	変異原性なし
トリエタノールアミン	In vitro	変異原性なし
トリエタノールアミン	In vivo	変異原性なし
安定剤 1	In vivo	変異原性なし
安定剤 1	In vitro	陽性データはあるが、分類には不十分。
安定剤 2	In vivo	変異原性なし
安定剤 2	In vitro	陽性データはあるが、分類には不十分。

## 発がん性

名称	経路	生物種	値又は判定結果
鉱油	皮膚	マウス	陽性データはあるが、分類には不十分。
鉱油	吸入した場合	ヒト及び動物	陽性データはあるが、分類には不十分。
酸化アルミニウム	吸入した場合	ラット	発がん性なし
石油系溶剤	皮膚	マウス	陽性データはあるが、分類には不十分。
グリセリン	経口摂取	マウス	陽性データはあるが、分類には不十分。
ホワイトミネラルオイル (石油)	皮膚	マウス	発がん性なし
ホワイトミネラルオイル (石油)	吸入した場合	多種類の動物種	発がん性なし
トリエタノールアミン	皮膚	多種類の動物種	発がん性なし
トリエタノールアミン	経口摂取	マウス	陽性データはあるが、分類には不十分。
安定剤 1	皮膚	マウス	発がん性なし
安定剤 1	経口摂取	ラット	発がん性なし
安定剤 2	皮膚	マウス	発がん性なし
安定剤 2	経口摂取	ラット	発がん性なし

## 生殖毒性

## 生殖発生影響

名称	経路	値又は判定結果	生物種	試験結果	ばく露期間
鉱油	吸入した場合	発生毒性区分に該当しない。	ラット	NOAEL 2.4 mg/l	器官発生期
グリセリン	経口摂取	雌について生殖毒性は区分に該当しない。	ラット	NOAEL 2,000 mg/kg/日	2 世代
グリセリン	経口摂取	雄について生殖毒性は区分に該当しない。	ラット	NOAEL 2,000 mg/kg/日	2 世代
グリセリン	経口摂取	発生毒性区分に該当しない。	ラット	NOAEL 2,000 mg/kg/日	2 世代
ホワイトミネラルオイル (石油)	経口摂取	雌について生殖毒性は区分に該当しない。	ラット	NOAEL 4,350 mg/kg/日	13 週
ホワイトミネラルオイル (石油)	経口摂取	雄について生殖毒性は区分に該当しない。	ラット	NOAEL 4,350 mg/kg/日	13 週
ホワイトミネラルオイル (石油)	経口摂取	発生毒性区分に該当しない。	ラット	NOAEL 4,350 mg/kg/日	妊娠期間中
トリエタノールアミン	経口摂取	発生毒性区分に該当しない。	マウス	NOAEL 1,125 mg/kg/日	器官発生期
安定剤 1	経口摂取	雌について生殖毒性は区分に該当しない。	ラット	NOAEL 10 mg/kg/日	2 世代
安定剤 1	経口摂取	雄について生殖毒性は区分に該当しない。	ラット	NOAEL 10 mg/kg/日	2 世代
安定剤 1	経口摂取	発生毒性区分に該当しない。	ラット	NOAEL 15 mg/kg/日	器官発生期
安定剤 2	経口摂取	雌について生殖毒性は区分に該当しない。	ラット	NOAEL 10 mg/kg/日	2 世代
安定剤 2	経口摂取	雄について生殖毒性は区分に該当しない。	ラット	NOAEL 10 mg/kg/日	2 世代
安定剤 2	経口摂取	発生毒性区分に該当しない。	ラット	NOAEL 15 mg/kg/日	器官発生期

## 標的臓器

## 特定標的臓器毒性、単回ばく露

名称	経路	標的臓器	値又は判定結果	生物種	試験結果	ばく露期間
鉱油	吸入した場合	中枢神経系の抑制	眠気又はめまいのおそれ。	ヒト及び動物	NOAEL 非該当	
鉱油	吸入した場合	呼吸器への刺激	陽性データはあるが、分類には不十分。		NOAEL 非該当	
鉱油	吸入した場合	神経系	区分に該当しない。	イヌ	NOAEL 6.5 mg/l	4 時間
鉱油	経口摂取	中枢神経系の抑制	眠気又はめまいのおそれ。	専門家による判断	NOAEL 非該当	
石油系溶剤	吸入した場合	中枢神経系の抑制	眠気又はめまいのおそれ。	ヒト及び動物	NOAEL 非該当	
石油系溶剤	吸入した場合	呼吸器への刺激	陽性データはあるが、分類には不十分。		NOAEL 非該当	
石油系溶剤	経口摂取	中枢神経系の抑制	眠気又はめまいのおそれ。	専門家による判断	NOAEL 非該当	
安定剤 1	吸入した場合	呼吸器への刺激	呼吸器への刺激のおそれ。	類似健康有害性	NOAEL 非該当	
安定剤 2	吸入した場合	呼吸器への刺激	呼吸器への刺激のおそれ。	類似健康有害性	NOAEL 非該当	

## 特定標的臓器毒性、反復ばく露

名称	経路	標的臓器	値又は判定結果	生物種	試験結果	ばく露期間
鉱油	吸入した場合	神経系	区分に該当しない。	ラット	LOAEL 4.6 mg/l	6 月
鉱油	吸入した場合	腎臓および膀胱	区分に該当しない。	ラット	LOAEL 1.9 mg/l	13 週
鉱油	吸入した場合	呼吸器系	区分に該当しない。	多種類の動物種	NOAEL 0.6 mg/l	90 日
鉱油	吸入した場合	骨、歯、爪及び/ 又は毛髪   血液   肝臓   筋肉	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 5.6 mg/l	12 週
鉱油	吸入した場合	心臓	区分に該当しない。	多種類の動物種	NOAEL 1.3 mg/l	90 日
酸化アルミニウム	吸入した場合	塵肺症	陽性データはあるが、分類には不十分。	ヒト	NOAEL 非該当	職業性被ばく
酸化アルミニウム	吸入した場合	肺線維症	区分に該当しない。	ヒト	NOAEL 非該当	職業性被ばく
グリセリン	吸入した場合	呼吸器系   心臓   肝臓   腎臓および膀胱	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 3.91 mg/l	14 日
グリセリン	経口摂取	内分泌系   造血器系   肝臓   腎臓および膀胱	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 10,000 mg/kg/day	2 年
ホワイトミネラルオイル (石油)	経口摂取	造血器系	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 1,381 mg/kg/day	90 日
ホワイトミネラルオイル (石油)	経口摂取	肝臓   免疫システム	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 1,336 mg/kg/day	90 日
トリエタノールアミン	皮膚	腎臓および膀胱	区分に該当しない。	多種類の動物種	NOAEL 2,000 mg/kg/day	2 年
トリエタノールアミン	皮膚	肝臓	区分に該当しない。	マウス	NOAEL 4,000 mg/kg/day	13 週

トリエタノールアミン	経口摂取	腎臓および膀胱	陽性データはあるが、分類には不十分。	ラット	LOAEL 1,000 mg/kg/day	2年
トリエタノールアミン	経口摂取	肝臓	区分に該当しない。	モルモット	NOAEL 1,600 mg/kg/day	24週

### 誤えん有害性

名称	値又は判定結果
鉱油	誤えん有害性
石油系溶剤	誤えん有害性
ホワイトミネラルオイル（石油）	誤えん有害性

製品及び成分に関する追加の毒性情報が必要な場合には、本SDSの1ページに記載した住所、電話番号にご連絡ください。

## 12. 環境影響情報

セクション2で区分表示が義務付けられている特殊な成分を含有する場合には、下記の情報と一致しないことがあります。セクション2の分類に関する追加情報が必要な場合は、弊社にお問い合わせください。また、成分の環境中での運命及び有害性は、成分の含有が表示義務となる値以下の場合、成分のばく露が予想されない場合、あるいは製品全体を考慮した場合に、この項の内容と一致しないことがあります。

### 生態毒性

#### 水生環境有害性 短期（急性）

GHS水生環境有害性（急性）区分3：水生生物に有害。

#### 水生環境有害性 長期（慢性）

GHS分類では水生生物への慢性毒性はない。

製品での試験データは無い。

材料	CAS番号	生物種	種類	ばく露	テストエンドポイント	試験結果
酸化アルミニウム	1344-28-1	該当なし	実験	96時間	LC50	>100 mg/l
酸化アルミニウム	1344-28-1	緑藻類	実験	72時間	EC50	>100 mg/l
酸化アルミニウム	1344-28-1	ミジンコ	実験	48時間	LC50	>100 mg/l
酸化アルミニウム	1344-28-1	緑藻類	実験	72時間	NOEC	>100 mg/l
グリセリン	56-81-5	バクテリア	実験	16時間	NOEC	10,000 mg/l
グリセリン	56-81-5	ニジマス	実験	96時間	LC50	54,000 mg/l
グリセリン	56-81-5	ミジンコ	実験	48時間	LC50	1,955 mg/l
安定剤1	営業秘密	珪藻	実験	72時間	EbC50	0.021 mg/l
安定剤1	営業秘密	緑藻類	実験	96時間	ErC50	0.018 mg/l
安定剤1	営業秘密	アミ	実験	96時間	EC50	0.33 mg/l
安定剤1	営業秘密	ニジマス	実験	96時間	LC50	0.19 mg/l
安定剤1	営業秘密	シープスヘッドミノウ	実験	96時間	LC50	0.36 mg/l

安定剤 1	営業秘密	ミジンコ	実験	48 時間	EC50	0.18 mg/l
安定剤 1	営業秘密	珪藻	実験	72 時間	NOEL	0.01 mg/l
安定剤 1	営業秘密	ファットヘッド ドミノウ (魚)	実験	36 日	NOEC	0.02 mg/l
安定剤 1	営業秘密	ミジンコ	実験	21 日	NOEC	0.172 mg/l
安定剤 1	営業秘密	鳥	実験	8 日	LC50	100 ppm 摂取
安定剤 2	営業秘密	珪藻	実験	72 時間	ErC50	0.099 mg/l
安定剤 2	営業秘密	緑藻類	実験	96 時間	ErC50	0.23 mg/l
安定剤 2	営業秘密	アミ	実験	96 時間	LC50	1.81 mg/l
安定剤 2	営業秘密	シープスヘッド ドミノウ	実験	96 時間	LC50	25.1 mg/l
安定剤 2	営業秘密	ミジンコ	実験	48 時間	LC50	0.934 mg/l
安定剤 2	営業秘密	ブラックワーム (蠕虫)	実験	28 日	NOEC	25 mg/kg (乾燥重量)
安定剤 2	営業秘密	珪藻	実験	72 時間	ErC10	0.04 mg/l
安定剤 2	営業秘密	ファットヘッド ドミノウ (魚)	実験	33 日	NOEC	2.1 mg/l
安定剤 2	営業秘密	緑藻類	実験	96 時間	NOEC	0.12 mg/l
安定剤 2	営業秘密	ミジンコ	実験	21 日	NOEC	0.044 mg/l
安定剤 2	営業秘密	液状化	実験	3 時間	EC50	41 mg/l
石油系溶剤	64742-14-9	該当なし	分類にデータ が利用できない、あるいは 不足している。	該当なし	該当なし	該当なし
鉍油	営業秘密	ファットヘッド ドミノウ (魚)	推定値	96 時間	LL50	8.2 mg/l
鉍油	営業秘密	緑藻類	推定値	72 時間	EL50	3.1 mg/l
鉍油	営業秘密	ミジンコ	推定値	48 時間	EL50	4.5 mg/l
鉍油	営業秘密	緑藻類	推定値	72 時間	NOEL	0.5 mg/l
鉍油	営業秘密	ミジンコ	推定値	21 日	NOEL	2.6 mg/l
トリエタノール ルアミン	102-71-6	液状化	実験	3 時間	IC50	>1,000 mg/l
トリエタノール ルアミン	102-71-6	ファットヘッド ドミノウ (魚)	実験	96 時間	LC50	11,800 mg/l
トリエタノール ルアミン	102-71-6	緑藻類	実験	72 時間	ErC50	512 mg/l
トリエタノール ルアミン	102-71-6	ミジンコ	実験	48 時間	EC50	609.98 mg/l
トリエタノール ルアミン	102-71-6	緑藻類	実験	72 時間	ErC10	26 mg/l
トリエタノール ルアミン	102-71-6	ミジンコ	実験	21 日	NOEC	16 mg/l
ホワイトミネ	8042-47-5	ミジンコ	類似コンパウ	48 時間	EL50	>100 mg/l

ラルオイル (石油)			ンド			
ホワイトミネラルオイル (石油)	8042-47-5	ブルーギル	実験	96 時間	LL50	>100 mg/l
ホワイトミネラルオイル (石油)	8042-47-5	緑藻類	類似コンパウンド	72 時間	NOEL	100 mg/l
ホワイトミネラルオイル (石油)	8042-47-5	ミジンコ	類似コンパウンド	21 日	NOEL	>100 mg/l

## 残留性・分解性

材料	CAS番号	試験の種類	期間	試験の種類	試験結果	プロトコル
酸化アルミニウム	1344-28-1	データ不足	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし
グリセリン	56-81-5	実験 生分解性	14 日	生物学的酸素要求量	63 %BOD/ThOD	OECD 301C-MITI (1)
安定剤 1	営業秘密	実験 水生固有生分解性	2 日	生物学的酸素要求量	97 %BOD/COD	OECD 302B Zahn-Wellens/EVPA試験
安定剤 1	営業秘密	実験 生分解性	28 日	二酸化炭素の発生	62 CO2発生量/理論CO2発生量%	OECD 301B類似法
安定剤 1	営業秘密	実験 加水分解		加水分解性半減期 塩基性 pH	13 日 (t 1/2)	OECD 111 pHに応じた加水分解
安定剤 2	営業秘密	実験 生分解性	29 日	二酸化炭素の発生	50 CO2発生量/理論CO2発生量%	OECD 301B - 修正シュツルム試験又は二酸化炭素
安定剤 2	営業秘密	実験 加水分解		加水分解性半減期 (pH7)	>1 年 (t 1/2)	OECD 111 pHに応じた加水分解
石油系溶剤	64742-14-9	データ不足	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし
鉱油	営業秘密	推定値 生分解性	28 日	生物学的酸素要求量	10 %BOD/ThOD	OECD 301D - クローズドボトル法
トリエタノールアミン	102-71-6	実験 生分解性	19 日	DOC (溶存有機炭素) 残留量	96 DOC除去%	OECD 301E類似法
ホワイトミネラルオイル (石油)	8042-47-5	実験 生分解性	28 日	二酸化炭素の発生	0 CO2発生量/理論CO2発生量%	OECD 301B - 修正シュツルム試験又は二酸化炭素

## 生体蓄積性

材料	CAS番号	試験の種類	期間	試験の種類	試験結果	プロトコル
酸化アルミニウム	1344-28-1	分類にデータが利用できない、あるいは	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし

		は不足している。				
グリセリン	56-81-5	実験 生態濃縮		オクタノール/水 分配係数	-1.76	
安定剤 1	営業秘密	実験 生態濃縮		オクタノール/水 分配係数	0.45	
安定剤 2	営業秘密	類似コンパウンド BCF - 魚	56 日	生物濃縮係数	5.75	
安定剤 2	営業秘密	実験 生態濃縮		オクタノール/水 分配係数	-0.486	OECD107 log Kow フラスコ振騰法
石油系溶剤	64742-14-9	分類にデータが利用できない、あるいは不足している。	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし
鉱油	営業秘密	分類にデータが利用できない、あるいは不足している。	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし
トリエタノールアミン	102-71-6	実験 BCF - 魚	42 日	生物濃縮係数	<3.9	OECD 305類似法
ホワイトミネラルオイル (石油)	8042-47-5	分類にデータが利用できない、あるいは不足している。	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし

**土壌中の移動性**

データはない。

**オゾン層への有害性**

データはない。

**13. 廃棄上の注意****廃棄方法**

関係法令に従って、産業廃棄物として自社で処分するか産業廃棄物処理業者に委託して処分する。

**14. 輸送上の注意****国内規制がある場合の規制情報**

船舶及び航空輸送上の危険物には該当しない。(国際連合危険物に該当しない) 取扱い及び保管上の注意欄に述べられている一般的注意に従ってください。

## 15. 適用法令

### 国内法規制及び関連情報

#### 日本国内法規制（主な適用法令）

労働安全衛生法：危険性又は有害性等を調査(リスクアセスメント)すべき物（法第 57 条の 3）

労働安全衛生法：皮膚等障害化学物質（安衛則第594条の2第1項）；本SDSのGHS分類により適用

労働安全衛生法：施行令 18 条の 2 名称等を通知すべき有害物

労働安全衛生法：施行令 18 条有害物質（表示物質）

労働安全衛生法：施行令別表第 6 の 2 有機溶剤

消防法：指定可燃物（可燃性液体類）

#### 主な法規制物質

労働安全衛生法：通知・リスクアセスメント・表示義務対象物質

成分	法律又は政令名称	2025年3月31日迄	2025年4月1日以降 2026年3月31日迄	2026年4月1日以降
石油系溶剤	石油ナフサ	該当	該当	該当
鉱油	ミネラルスピリット（ミネラルシンナー、ペトロリウムスピリット、ホワイトスピリット及びミネラルターペンを含む。）	該当	該当	該当
鉱油	ミネラルスピリット（ミネラルシンナー、ペトロリウムスピリット、ホワイトスピリット及びミネラルターペンを含む。）	該当	該当	該当
トリエタノールアミン	トリエタノールアミン	該当	該当	該当
ホワイトミネラルオイル（石油）	鉱油	該当	該当	該当

## 16. その他の情報

### 改訂情報

セクション 15：労働安全衛生法の表「2025年4月1日以降2026年3月31日迄」情報の追加.

セクション 15：労働安全衛生法の表「2026年4月1日以降」情報の追加.

セクション 8：OEL登録機関の説明 情報修正.

セクション 12：成分生態毒性情報 情報修正.

セクション 12：生態濃縮性情報 情報修正.

セクション 15：労働安全衛生法の表 情報修正.

セクション 15：適用法規のステートメント 情報修正.

免責事項：この安全データシート（SDS）の情報は、発行時における当社の知見に基づき正確であると考えていますが、当社は、その使用から生じる損失、損害または傷害に関する賠償責任を引き受けるものではありません。

（法令で要求される場合を除く）本SDSの記載内容は、記載されている範囲外の使用、あるいは他の物質と組み合わせでの使用では効力を持ちません。これらの理由から、お客様がご自身の用途に製品が適合しているかどうかをご自身で評価することが重要です。加えて、本安全データシートは安全衛生情報もお伝えしております。日本国へ本製品を輸入されるお客様は、製品の登録・届出、物質量の監視、想定される物質の登録・届出を含む（こ



れらに限定されるものではありません) 適用される全ての法的要求について責任を負います。

3MジャパングループのSDSは日本のウェブサイトから入手できます。